

N1 留学生が BJT 「J1」 取得のために理解すべき語彙 「人：単数」の研究

——キャリア形成300語と BJT 「J1」 30語のリスト開発——

犬 飼 明 子

Abstract

This paper examines whether the 284 words on the vocabulary list created by Inukai (2023) for “person: singular”, which are considered necessary to obtain “J1” on the BJT (Business Japanese Proficiency Test) are appropriate. Through class observation, 16 words that are considered effective for career development are added, bringing the total to 300 words. In addition, 30 words that are considered essential for obtaining “J1” are carefully selected and a vocabulary list is developed for self-study. The author administers a questionnaire regarding the 284 words to international students in her classes, considers the results, and adds words which are missing to the list. The 30 words are carefully selected. In addition to reviewing previous studies on vocabulary lists, she also conducts a questionnaire survey of Japanese junior college students who are about to start job hunting for reference, since many international students who aim to find jobs in Japan take the BJT.

Keywords: N1 foreign student, BJT (Business Japanese Proficiency Test), J1, vocabulary list, career development

目次

1. はじめに
2. 先行研究
3. BJT 「J1」 取得の意義を再考
4. アンケート調査
5. 授業観察
6. キャリア形成のために理解すべき語彙「人：単数」300語
7. 「J1」取得のために理解すべき語彙「人：単数」厳選30語
8. 結論

1. はじめに

犬飼 (2023) では、愛知大学で筆者が担当するビジネス日本語授業を履修する留学生の中で、すでに N1 を取得している学生 (以下、「N1 留学生」と称す) が BJT ビジネス日本語能力テスト (以下、BJT) を受験し、J1 レベルを目指すことがキャリア形成において有意義であることを述べた。そして、そのための教材、とりわけ語彙教材が不足していることを指摘し、その第一段階として「人：単数」の語彙リスト (284¹⁾ 語) を作成した。本稿では、この語彙リストが N1 留学生にとってどの程度の適切性を持つかを調べるため、アンケート調査を行った。その結果を踏まえ、留学生の日本語授業における語彙学習の学習方略も観察し、キャリア形成に寄与する 300 語をまとめた。さらに、本研究の最終的な目標である N1 留学生が J1 レベル取得のために効率よく自習できる語彙リストとして、30 語を厳選する。

2. 先行研究

日本語教育の専門領域における語彙リスト作成の先行研究には、野村・川村 (2011)、高橋 (2013a, 2013b)、伊藤 (2014)、佐野 (2016)、中川 (2017)、愛甲 (2022)、渡辺 (2022) 等がある。ここでは、以下の 4 本について、概観する。

野村・川村 (2011) は、介護福祉士候補の留学生支援のための語彙リストを作成している。介護福祉士を目指すという明確な目標が掲げられているため、国家試験の「介護技術」分野の過去問題 320 題を分析している。過去問題の分析から介護分野という特定の目的のための日本語教育において、語彙の指導が必要であると結論付けている。

高橋 (2013a) は、日本語中級読解クラス (N2・N3 レベル) の学習者の語彙に対する意識を調べている。学習者のレベル別に語彙量を把握し、指導に活かすという点が興味深い。授業中に語彙を提示し、未知語彙と判断した学習者数とそれを覚えたいと思った学習者数、日本語能力試験のレベルと照らし合わせている。

JLPT レベルを限定させた点では、本研究と類似しているが、本研究では、効率の良い語彙学習を目指しているため、学習者自身が「覚えたいと思う」語を選ぶ過程は重視していない。語彙の理解は、BJT の聴解・聴読解・読解全ての分野で必要となるため、早く確実に底上げする必要がある。したがって、本研究では、学習者が未知語と判断した語の中から、教師が J1 取得のために「これだけは理解しておきたい」という語彙を選び、提示する方法を採る。

伊藤 (2014) は、自己主導型学習による「専門語彙」の授業実践を行っている。学習者の「必要な文献を読みたい」という意欲に応え、学習者自ら web ツールを利用し、専門語彙リ

ストを作成するという実践である。専門語彙をカテゴリ分類することで、意味と用法への新しい気づきが生まれる点、学習者の自律学習能力の意識化も促せる点も有効であるとしている。本稿では、N1留学生在が「BJTでJ1を取得したい」という意欲に応え、自習用語彙リストの作成を目指す。カテゴリ分類して提示することで、意味と用法を調べやすくし、さらに意欲を高めるよう工夫したい。

愛甲（2022）は、留学生在が入学前に習得すべき必修語彙リストを作成している。シラバスや学内手続きに関する書類から、両者に掲載（共通語彙）、シラバスのみに掲載、手書き書類のみに掲載されている語彙をそれぞれ抽出し、使用回数別に分類している。例えば、50回以上使用されている共通語彙には、「大学」、「講義」、「日本」、「説明」など12の語彙が挙げられている。

BJT試験問題が公開されていないため、本研究では使用頻度の追跡はできないが、かわりに、BJT対策問題集や日本人向けのビジネス系検定問題集など合計6冊から「人：単数」を抽出している（犬飼：2023）。

以上の先行研究から、特定の目的のための語彙教育が実践されていることがわかる。本実践も試験対策という特定の目的を達成するため、それに添う語彙の指導が必要であることを確認した。また、学習者のJLPTレベルと学習意欲を考慮することが、J1取得のための自習用語彙リスト作成に重要と考える。

3. BJT「J1」取得の意義を再考

2023年12月2日、NPO国際教育振興会主催の講演会において、日本企業で働く外国人社員に対し、BJT検定を活用し、企業で求められる日本語力を養成する有用性や方法が示された²⁾。日本漢字検定協会の大森氏が、日系企業に勤める外国人社員Lさんが、書店でBJT検定の存在を知り、受験したところ、J1を取得したという話を紹介された。また、「日本企業は、J2レベル420点を期待している。」という指摘もあった。BJT受験者には、日本企業で働く社会人が含まれている。企業では、J2レベル以上を期待することは、ビジネス経験を持たない留学生在がJ1取得を目指すことは、難易度が高いということも改めて認識しておきたい。

中日新聞（2023年6月7日）には、「日系4世に定住資格付与へ」「政府 高い日本語能力など一定要件」の記事が掲載されている。「入管庁によると、新制度は、四世が特定活動で五年滞在し、日本語能力試験二級（N2）に合格するなどビジネスにも対応できる日本語能力（下線筆者）を備えるといった要件を満たせば、定住者の在留資格へ移行できるようにする。」とある。

また、中日新聞（2016年4月15日）には、「非製造業でも採用国際化 訪日客増 海外展開にらみ」「十六銀 新卒総合職に外国人」の記事が掲載され、新卒で十六銀行に就職した中国人留学生、Tさんの写真が紹介されている。彼は愛知大学出身で、筆者が1年間ビジネス日本語授業を担当した。上海出身で日本語レベルはN2、授業の休憩時間中にも質問をするなど意欲的な取り組みで、就職活動にも一生懸命だったことを覚えている。当時は、留学生が新卒で銀行の総合職に採用されるのは異例だったため、地元経済版に大きな記事で取り上げられたのだ。記事に添えられた写真には、同時に新卒採用された名古屋大学大学院修了の中国人留学生の女性も並んで写っている。国立大学大学院修了生もライバルになるので、大手企業への就職活動を有利に進めるためのアピール材料として、J1の取得、ビジネス日本語の理解も促したい。

JLPTの知名度が高いため、N2留学生の多くは、N1取得を目標としている場合が多い。筆者が担当するビジネス日本語授業は、3年次以上対象の科目であるため、既に就職活動を行っていたり、インターンシップへの参加を検討したりしている履修生が多い。日本での就職を目指すならば、そうした活動を始めなければならない時期でもあり、BJTは、その動機付けやキャリア形成にも直結する。犬飼（2023）に、N1留学生のBJT受験の意義について詳述しているが、N2留学生も、N1取得後にBJT対策を始めるのではなく、同時進行で、J1取得を目指して学習するのが良いだろう。前述のTさんも、銀行の総合職に新卒で内定したが、「頭取」という語彙は、BJTのための学習を通じて習得している。

4. アンケート調査

284語の語彙リストがJ1を目指すN1留学生にとってどの程度の適切性を持つかを調べるため、留学生及び日本人短大生を対象にアンケート調査を行った。調査票は、両調査共通で、記名式である。284語それぞれに対して、「□1. はっきり分かる □2. 大体分かる □3. よく分からない（聞いたこと・見たことがある） □4. 知らない」のいずれかにチェックする多肢選択式で、筆者が担当する授業時間内にプリントで配付、回収した。配付の際、回答の途中で意味を調べることはしないように指示した。また、留学生クラスでは、大勢が「よく分からない」や「知らない」にチェックした語を翌週の授業で解説すると告げた。

4.1 留学生へのアンケート

4.1.1 調査時期及び対象

筆者が担当する「ビジネス日本語Ⅰ・Ⅱ」クラス履修者で、2022年春(I)・2023年春(I)・

秋学期(II)の3回行い、3期合わせて19名である。2022年秋(II)は、2022年春(I)と重複する学生が多いため、アンケートを実施していない。2023年春(I)・秋(II)の学生は、全員が入れ替わり、一人も重複していない。19名の内訳は以下の通りである。

N1：11名（中国4名、台湾3名、韓国3名、マレーシア1名）

N2：6名（中国4名、韓国2名）

N3：2名（中国2名）

漢字圏出身は13名、非漢字圏出身は6名、年齢は、20～26歳まで在籍している。以上は、初回の授業で自己紹介シートに記入し、自己申告した内容である。

4.1.2 調査結果と分析

284語に関する19名の理解状況は、表1の通りである。

表1 留学生の284語の理解状況（総合計：延べ5,386語）

	(語／%)			
	はっきり分かる	大体分かる	よく分からない	知らない
N1留学生 (11名)	1,827 (58%)	630 (20%)	369 (12%)	298 (10%)
N2留学生 (6名)	1,110 (65%)	251 (15%)	197 (12%)	146 (9%)
N3留学生 (2名)	233 (41%)	73 (13%)	58 (10%)	204 (36%)

表1に見る通り、N1留学生とN2留学生においては、未知語と既知語の分布割合が同じような傾向にあった。既知語は「はっきり分かる」と「大体分かる」を合わせて約8割、未知語は「よく分からない」と「知らない」を合わせて約2割であった。一方、N3留学生は、それとは異なる分布の傾向で、「知らない」が3割を超えている。

また、N1留学生11名が「よく分からない」と回答した369語と「知らない」と回答した298語を合わせると延べ667語になり、その異なり語数は185語であった。これを「未知語」とし、次頁にまとめる。

なお、N2留学生の未知語の異なり語数は、合計145語であった。

N1留学生の未知語が185語であったのに対し、N2留学生のほうが未知語と認知している語が少ないという結果になった。これについて、次節で考察したい。

表2 N1留学生の未知語 (11名)

未知語 (185語)	人数	%
団塊ジュニア (1)	11	100
頭取, パネリスト, セネラリスト, エssenシャルワーカー, 会葬者 (5)	10	91
専務取締役, 常務取締役, ステークホルダー, キーパーソン (4)	9	82
社外取締役, 専務, 上長, オブザーバー, ジェネラリスト, 浦島太郎, 住人 (7)	8	73
常務, 取締役, クライアント, 施主, OG, 玄人, エキスパートコメンテーター, カウンセラー, コーディネーター, 先方, 葬儀委員長 (12)	7	64
取締役副社長, 重役, 監査役, 弁理士, 上役, まとめ役, 人財, 立役者, 見込客, リピーター, 法人会員, 顔見知り, 連帯保証人, OB, 有識者, 識者, スペシャリスト, コンサルタント, ディレクター, 喪主, 識者, 喪主 (22)	6	55
代表取締役社長, 次長, チーフ, マーケティングスタッフ, 為替担当者, 代理の人, 各人, 貴殿 (8)	5	45
元銀行員, 取引業者, 課長代理, プロジェクトチーフ, 総務の伊藤, 上, 受付の女性, 当方, 傍聴者, コンシューマー, 既卒, シニア, ベビーシッター, アウトサイダー, インサイダー, うちの誰, 障害者, 身内, ご令息様, 親戚の者, 故人 (21)	4	36
税理士, 本部長, 開発室長, 室長, 説明要員, 配達要員, 要員, 前任, 勤労者, 人手, 司会, 司会者, 個人事業主, 年配の方, 差出人, お嬢様, 伊藤部長殿 (〇〇部長殿), 課長田中殿 (課長〇〇殿), 第三者, 近親者 (20)	3	27
役員, トップ, 幹部, 顧問, 債権者, 債務者, 株主, 業者, 工場長, 上田部長様 (〇〇部長様), 監督, 受付, 代理人, 若手営業社員, ベテラン, 前任者, 後任者, 後任, 事務員, 事務局, 議長, 討論者, 来賓, 功労者, 幹事, お得意様, 雇用者甲, 被雇用者乙, 恩師, モニター, 氏, どちらさま, どなたさま, ご尊父様, ご母堂様, 子息, ご子息様, お子様, ご令嬢様, 遺族 (40)	2	18
ビジネスパートナー, 総務部長, 係長, 主任, マネージャー, 責任者, 製品開発センター長, チームのメンバー, メンバー, ご本人, 同僚, 有期雇用労働者, 派遣, 派遣さん, 職業人, ビジネスマン, 人員, 窓口係, 議員, 個人, インターン生, 受講生, 受講者, 小中学生, 面接官, 素人, 職人, 技術者, 著作者, 著者, 有名人, 受信者名, 発信者名, どの者, どの人, 障がいの者, 障害者, ご主人, ご主人様, 主人, 奥様, お母様, お兄様, お姉様, 妹様 (45)	1	9

4.1.3 考察

N1留学生の未知語がN2留学生より40語多かったことで、N1留学生の語彙力がN2留学生より劣ると結論付けるのは性急であろう。その理由として、本調査の質問形式、調査の規模が挙げられる。

本調査における「はっきり分かる」「大体分かる」「よく分からない」「知らない」の選択は、本人の自覚によるもので、客観テストで正確に測定を行ったものではない。十分に理解していない語を「大体分かる」に分類するか、「よく分からない」に分類するかは、回答者個人の捉え次第であり、様々であろう。これまで分析的で緻密に学習を積み重ねてきたタイプの人は、今回のアンケートにおいても、「はっきり分かる」「大体分かる」とまでは言えないなどと、厳しく判断する気持ちが働いているかもしれない。

そして、調査票の284語の提示順がランダムではなく、シソーラスの概念に基づき、類似した語を近くに配列していることで、前後の語から類推できる語もある。類推した語を「よく分からない」とするか「大体分かる」とするか、揺れが出やすいと思われる。

また、対象者数も N1 留學生は11名、N2 留學生は6名であるため、単純に比較するには不足がある。個人差の影響も大きいと考え、調査票を個別に見たところ、AとBの2名が他の9名に比べ、未知語の数が極端に多かった。この2名がN1留學生の未知語数を増やしていることがわかった。

Aさん(中国、男性)は、284語中121語を未知語としている。授業初回の自己紹介シートで「中国の大学で、ビジネスメールについての授業を受けました。もっと専門のビジネス用語を身につけたいです。」と整った文章で、履修理由を書いている。しかし、「ご尊父様」「お母様」「ご母堂様」「お兄様」「お姉さま」「妹様」「子息」「ご令息様」「ご子息様」「お子様」「お嬢様」などを未知語として選んでいる。意味は分かっているもののどのような場面でのように使うかを正確に区別できないと認識し、未知語としたのではないだろうか。

Bさん(台湾、女性)は、284語中106語を未知語としている。彼女は、TOEICのスコアが820点であり、本授業に参加する前に、日本の北関東の大手ホテルでインターンシップを5ヶ月間体験している。自己紹介シートには「ビジネス場合を使える日本語や日本の職場に関する礼儀を学びたいです。」(原文ママ)と書いた。遅刻や欠席は一度もなく、授業前後にも質問するなど、大変熱心な取り組みが目立った。「受付の女性」「代理の人」「ご本人」「司会」「司会者」「小中高生」などは、理解できる語彙ではないかと思われるが、未知語としている。また、「クライアント」「ステークホルダー」「キーパーソン」「リピーター」「コメンテーター」「スペシャリスト」「ジェネラリスト」「ゼネラリスト」「カウンセラー」「コンサルタント」「コーディネイター」「エッセンシャルワーカー」なども未知語としている。これらが英語表記であれば理解できるレベルであることは間違いないが、カタカナ語の日本語と捉えた場合に、理解できていないと考えたかもしれない。

以上のように、N1留學生とN2留學生の40語の差は、単純に解釈できない。しかし、両グループに共通し、高い割合で未知語と判断された語彙については、誰にとってもJ1取得に向け、効率よく語彙力を高めるために有効であると推察される。

4.2 日本人短大生へのアンケート

4.2.1 調査時期及び対象

BJT受験者は、日本で就職を目指す留學生が多いため、日本人短大生も就活でライバルとなる存在だと言える。短大は2年生課程であるため、ビジネス日本語履修生である留學生と同様に、就職活動を意識したり、既に開始していたりする。そこで、日本人短大生にも同様

のアンケートを行い、共通点・相違点を分析する。

対象は、筆者が担当する「美しい日本語（日本語コミュニケーション）」2022年春学期履修者7名（1年生6名，2年生1名）と、「ドキュメンテーション演習（日本語の文書作成法）」2022年春学期履修者6名（2年生）合計13名である。「美しい日本語」履修の2年生は、「ドキュメンテーション演習」は履修していないため、重複はない。いずれも短期大学の開講科目で、18～21歳までの女性が履修し、就職活動を行っている2年生，3年次編入学を目指す1年生，就職か編入学を迷っている1年生，就職することを決めている1年生が在籍している。アルバイト経験の有無，高校時代の専攻も普通科，生活デザイン科，総合学科など様々である。

4.2.2 調査結果

284語に関する短大生13名の理解状況は、表3の通りである。

表3 日本人短大生の284語の理解状況（13名）（総合計：3,692語）

（語／％）

	はっきり分かる	大体分かる	よく分からない	知らない
短大生 (13人)	2,782 (75%)	454 (12%)	323 (9%)	128 (3%)

表4 日本人短大生の未知語（13名）

未知語（104語）	人数	％
オブザーバー，アウトサイダー（2）	12	92
頭取，インサイダー（2）	11	85
専務取締役，常務取締役，ゼネラリスト（3）	10	77
専務，常務，社外取締役，弁理士，施主，ステークホルダー，パネリスト，雇用者甲，被雇用者乙，ジェネラリスト，団塊ジュニア（11）	9	69
識者，エッセンシャルワーカー，障害者（3）	8	62
債権者，プロジェクトチーフ，チーフ，功労者，法人会員，葬儀委員長（6）	7	54
債務者，当方，有識者，功労者，立役者（5）	6	46
重役，顧問，次長，上長，当方，コンシューマー，コンサルタント，会葬者（8）	5	38
監査役，開発室長，マーケティングスタッフ，上役，見込客（5）	4	31
代表取締役社長，取締役副社長，取締役，税理士，クライアント，本部長，係長，主任，製品開発センター長，説明要員，要員，為替担当者，討論者，モニター，ご尊父様，ご母堂様，喪主（17）	3	23
総務部長，人事課長，課長代理，キーパーソン，有期雇用労働者，職業人，勤労者，各人，玄人，コメンテーター，貴殿，訪日外国人，近親者，ご令息様，ご息女様（15）	2	15
副社長，トップ，ビジネスパートナー，部長，上田部長様（〇〇部長様），マネージャー，室長，監督，営業部員，部員，担当者，財務担当，総務の伊藤，ビジネスマン，傍聴者，幹事，保証人，連帯保証人，既卒，素人，コーディネイター，インフルエンサー，ディレクター，受信者名，発信者名，先方，障害者（27）	1	8

4.2.3 分析と考察

284語の理解状況は、未知語が12%であり、2割程度であったN1・N2留学生と比べかなり少ない。異なり語数でも、N1留学生の185語を81語下回る104語である。また、13名全員が未知と判断した語はゼロであった。

日本人短大生が選んだ未知語は、留学生が選んだものと類似した傾向にある。これは、日本人短大生の中には、高校の生活デザイン科で秘書検定2級を取得している学生もいるが、殆どの学生はビジネス用語を学んでいないためであろう。また、短大生も、外来語を英語から類推することをあまりしていないため、これらの語も未知語として多く選ばれている。

相違点としては、N1留学生在が未知語とした「顔見知り」「浦島太郎」「OB・OG」「住人」などは、短大生は既知と判断し、選んでいないことが挙げられる。日本で生まれ、日本の学校に通い、生活の中で自然に覚える語彙や、「浦島太郎」のように、幼少時に学ぶものについては、日本人短大生の方が理解していると言える。また、短大生は、全員女性であるので、「OG」という語彙も聞きなれているだろう。

5. 授業観察

5.1 授業観察の目的

効率よく自習できる語彙リスト作成のために、N1留学生在の語彙学習の学習方略や語彙学習に対する態度を知ることも重要である。アンケート調査に加え、授業中の語彙学習の様子を観察し、教材作成の参考とすることとした。

また、300語リスト作成のために284語に加える16語の選定にも授業観察で得られた情報を活用したい。具体的には、アンケートに関する発言やフィードバック時の質問などの教室内コミュニケーションである。

以下、アンケート調査時の様子と、その翌週からのアンケートフィードバック時の様子からうかがえたことを記す。

5.2 アンケート用紙配付時

毎回のアンケート用紙配付の際、回答後すぐ回収することを伝えると、「プリントをスマホで撮影したい。」と申し出るN1留学生在がいた。撮影を許可すると、他のN1留学生在、日本で就職を目指すN2留學生からも撮影を行っていた。クラスメイトが使う学習方略に気づき、自分もそれをすぐに取り入れてみるという行動が見られた。

5.3 アンケートフィードバック時

翌週からの授業で、アンケートフィードバックを行った。使用する教材は、アンケート結果のN1留学生の未知語を中心とした38語を拾い出し、A4判プリントにまとめたものである。語彙選びでは、BJTのJ1レベルと考えられる語で、かつN1留学生の将来の使用頻度も高いと思われる語を優先した(表5)。プリントは、基本的に1行1語とし、「派遣」と「派遣さん」、「雇用者甲」と「被雇用者乙」のような同義語や対義語、関連語は、2語を1行にまとめた。解説や練習などを付けず、学習者がメモ等を書き込むスペースをたっぷりとした全31行の余白の多いプリントである。

表5 アンケートフィードバック用38語

・取締役副社長 ・ 社外取締役 ・ 弁理士 ・ 頭取 ・ クライアント ・ 施主
 ・ ステークホルダー ・ 課長代理 ・ 要員 ・ 上長 ・ 当方 ・ 派遣/派遣さん ・ 人財
 ・ パネリスト ・ オブザーバー ・ 来賓 ・ 立役者 ・ コンシューマー ・ 見込み客
 ・ 法人会員 ・ 雇用者甲/被雇用者乙 ・ 有識者/識者 ・ ジェネラリスト/ゼネラリスト
 ・ アウトサイダー/インサイダー ・ 団塊ジュニア ・ 障害者 ・ 訪日外国人
 ・ ご尊父様/ご母堂様 ・ ご令息様/ご息女様 ・ 葬儀委員長 ・ 会葬者

2022年春の授業では、8名の履修生(N1:4名, N2:3名, N3:1名)を対象に、2回に分けてアンケートフィードバックを行った。プリントを配付し、教師が一語一語解説していくスタイルである。

フィードバック初回授業時には、N1留學生が配付されたプリントにさっと目を通し、未知語などをチェックする姿があった。また、授業中少し時間に余裕ができた学習者がすぐにスマホや電子辞書で語彙を検索し、余白にメモをする姿も見られた。改めて、未知語学習に対して大変意欲的であることやスマホの検索機能を有効に利用している様子を確認した。

初回授業では、プリントの前半を解説し、残りの約20語は、翌週の講義で解説するとして、持ち越した。宿題にはしていなかったが、N1留學生は、未知語を調べてメモして翌週の授業に参加するなど、意識が非常に高い。また、下調べしてある学生を指名し、メモの音読を促すと、ドギマギした様子もなく、きちんと発表もできていた。

母語以外の言語である日本語をN1という高いレベルまで習得できているため、N1留學生がすでに自分なりの語学学習のスタイルを確立していることを示していると言える。これに加えて、日本語学習に対して非常に熱心であることを改めて確認できた。

2023年春、2023年秋にも同様に、284語のアンケートを行い、2022春と同様の語を未知語とする傾向がうかがえたため、アンケートフィードバックには、2022年春に使用した38語のプリントを使用した。語彙プリントの解説は、3週に分けて行った。N1留學生は、3クラスとも意欲的であり、自習用語彙リストがあれば、自分のペースで効率的に、確実に学習

できるだろうと思われた。

6. キャリア形成のために理解すべき語彙「人：単数」300語

犬飼（2023）でリストアップした284語に新たに16語を追加し、キャリア形成のための300語のリストを開発した。

6.1 追加16語

追加する16語（初出時に太字で示す）は、アンケート結果及び授業観察で得た結果を基礎とし、以下のような昨今のビジネス事情なども勘案して選んだ。

トップマネジメント（経営者層）に「CEO」「理事長」「会長」「オーナー」の4語を加える。CEOは最高経営責任者であり、理解できるとグローバル企業への視野が広がる。2018年、インドネシア出身のN1留学生在が日系企業に就職した際、本人の希望もあり、最初の勤務地はアメリカだったという事例がある。また、アルファベットの省略語が増えているので、アルファベット略語全体へ興味を広げられることも期待できる。

「理事長」は、公益財団法人、学校法人、医療法人などのトップである。「頭取」は、銀行の社長であるが、信用金庫の社長は、「理事長」である。「頭取」は読みも難しいため重要であるが、普通に大学生生活を送る中で、接点のない語と言える。2016年、N1留学生在が銀行へ就職している。地元の信用金庫も海外へ進出する時代となった。キャリア形成を幅広く捉えるためにも、ぜひ理解させたい。日本銀行、都市銀行、地方銀行、信用金庫など金融機関への理解を進めやすく、再編のニュースにも興味を持てるようになる。

「会長」は、社長退任後、就くことも多い。昨今は、会長も代表権限を有していたり、経営に参画していたりする場合も多いため、押さえておきたい。「オーナー」を知らない学生もいたが、英語で表現すれば理解できた。会社だけでなく、不動産、車、様々なオーナーがいるので、ビジネス感覚を養うためにも押さえたい。

法律関係の語彙として、「弁護士」を知る学生は多い。「裁判官」も追加し、日本が法治国家であることを確認する。「弁理士」は、N1・N2留学生ともに、50%以上が未知と報告していた。ドラマ、アニメで弁護士の扱いは多いが、弁理士は少ない。マーケティング、特許、意匠関係への興味にも広げられる。士業への理解促進に有効な語彙である。

金融関係の語彙として、「アナリスト」を追加する。経済学部生は、証券アナリストなどを知っているが、他学部生は触れる機会が少ない。金融関係のみに使用する語ではないが、金融と結び付けておくと、学生は理解しやすい。英語を示すと理解できる学生が多い。

ローマネジメント（現場監督者層）に、「管理人」を追加する。大学が用意した宿舎に

居住する学生は、知らなかったが、一人暮らしが長く、自分でアパートを借りている学生にとっては既知である。全ての会社で「管理人」がローマネジメントに該当するわけではないが、住まいの他に、工場などにも管理人がいるので覚えたい語彙である。

実務層（一般社員）の仕事として、「マーケター」「バイヤー」を加え、マーケティング関連の語彙として理解させたい。学生は誕生から現在まで、消費者側であるが、働く側になるということは、商品やサービスを生産し、供給する側になるということである。全く逆の目線に立つことになるので、視点の転換を図るためにも導入したい2語である。

会議用語として、「ファシリテーター」を加える。2020年のコロナ禍から、インターンシップや面接試験でオンラインの利用が増えた。現在でも、オンライン面接を行う企業は多く、対面とのハイブリッド選考が定着している。インターンシップを含め、早期選考が進み、グループディスカッションが早い段階から実施されるため、その形式に慣れておく必要がある。ファシリテーターの役割を理解し、対面でもオンラインでも、その役割を果たせるようにしておきたい。

専門職として、「記者」を加える。広く一般に使用されるので、理解させておきたい。キャリア形成の講義では、「貴社」を書き言葉、「御社」を話し言葉と指導するのが一般的である。このように使い分ける理由にはいくつかあるが、キシャには同音異義語が複数あるため書き言葉として用いると説明する方法がある。筆者も「貴社」「記者」「婦社」などビジネス場面でよく使われる同音異義語を併せて紹介し、短時間にビジネス語彙や日本企業の慣習などを説明するようにしている。新聞記者の他、オウンドメディアの広がりから、記者的な仕事をする人が増えている現状も押さえない。

メタファーとして、「右腕」「先駆者」「フロンティア」「パイオニア」「愛知太郎（〇〇太郎）」を加える。「立役者」を「先駆者」と誤解する学生がいた。「フロンティア」「パイオニア」もビジネス場面で使われる語彙である。「浦島太郎」のおとぎ話を知らない留学生は多い。しかし、「愛知太郎（〇〇太郎）」は、書類などの名前の記入例に多くあるため、日本での生活が長い留学生は知っている。日本で就職を目指すということは、日本で生活する前提であることも考慮し、理解しておくが良い。

6.2 キャリア形成300語

N1留学生が自習用に使用する語彙リスト284語に16語を加え、キャリア形成のために理解すべき語彙「人：単数」300語を表6に示す。自習用であるため、一項目毎に分かりやすいタイトルをつけた。会社のタテの組織が、トップマネジメント（経営者層）、ミドルマネジメント（中間管理者層）、ローマネジメント（現場監督者層）、実務層（一般社員）の4層から成ることも併せて確認できるようにしている。ビジネスを動かすのは、「ヒト・モノ・

表6 キャリア形成のために理解すべき語彙「人：単数」300語

トップマネジメント (経営者層)(20)	1) 代表取締役社長 2) 社長 3) 取締役副社長 4) 副社長 5) 専務取締役 6) 専務 7) 常務取締役 8) 常務 9) 取締役 10) 重役 11) 役員 12) 監査役 13) 社外取締役 14) トップ 15) 幹部 16) CEO 17) 理事長 18) 会長 19) オーナー 20) 上
法律・金融 (利害関係者)(18)	1) 弁護士 2) 裁判官 3) 税理士 4) 弁理士 5) 顧問 6) 頭取 7) 銀行員 8) 元銀行員 9) アナリスト 10) 債権者 11) 債務者 12) 株主 13) クライアント 14) 施主 15) ビジネスパートナー 16) 取引業者 17) 業者 18) ステークホルダー
ミドルマネジメント (中間管理者層)(19)	1) 本部長 2) 部長 3) マネージャー 4) 総務部長(〇〇部長) 5) 上田部長様(〇〇部長様) 6) 次長 7) 人事課長(〇〇課長) 8) 課長 9) 課長代理(〇〇代理) 10) 開発室長(〇〇室長) 11) 室長 12) 製品開発センター長(〇〇センター長) 13) 工場長 14) 責任者 15) 上司 16) 上長 17) 上役 18) まとめ役 19) キーパーソン
ローマネジメント (現場監督層)(10)	1) 係長 2) 主任 3) チームリーダー 4) リーダー 5) チームのメンバー 6) メンバー 7) プロジェクトチーフ 8) チーフ 9) 監督 10) 管理人
実務層 (一般社員)(28)	1) マーケティングスタッフ 2) スタッフ 3) マーケター 4) バイヤー 5) 営業部員 6) 部員 7) 販売員 8) 説明要員 9) 配達要員 10) 要員 11) 人手 12) 人員 13) 為替担当者 14) 担当者 15) 財務担当 16) 担当 17) 総務の伊藤(総務の〇〇) 18) 受付の女性 19) 受付 20) 代理人 21) 代理の人 22) 新入社員 23) 新人 24) 若手営業社員 25) 社員 26) 職員 27) 人材 28) 人財
マーケティング対象 (27)	1) 顧客 2) お得意様 3) お客様 4) お客さん 5) 山田様(〇〇様) 6) 来客 7) 消費者 8) コンシューマー 9) ユーザー 10) 見込客 11) 新規顧客 12) リピーター 13) 法人会員 14) 会員 15) 個人 16) 利用客 17) 来店者 18) お一人様 19) 店長 20) 店主 21) 店員 22) 各人 23) シニア 24) 高齢者 25) 年配の方 26) 団塊ジュニア 27) 訪日外国人
勤務形態(13)	1) 従業員 2) 正社員 3) 有期雇用労働者 4) パート労働者 5) パート 6) パートさん 7) 派遣 8) 派遣さん 9) アルバイト 10) 非正規社員 11) 個人事業主 12) 自営業 13) 自営業者
契約(6)	1) 雇用者 2) 被雇用者 3) 雇用者甲 4) 被雇用者乙 5) 連帯保証人 6) 保証人
会議(22)	1) 事務局 2) 事務員 3) 窓口係 4) 窓口 5) 議長 6) 議員 7) 委員 8) 参加者 9) 司会者 10) 司会 11) ファシリテーター 12) 記録者 13) パネリスト 14) 討論者 15) 来賓 16) 功労者 17) 立役者 18) 幹事 19) 出席者 20) 欠席者 21) オブザーバー 22) 傍聴者
専門職(16)	1) 職人 2) エンジニア 3) 技術者 4) 医師 5) エキスパート 6) 専門家 7) 秘書 8) 通訳 9) 記者 10) 著作者 11) 著者 12) 有識者 13) 識者 14) コメンテーター 15) 有名人 16) インフルエンサー
カタカナ職(10)	1) スペシャリスト 2) ジェネラリスト 3) ゼネラリスト 4) カウンセラー 5) コンサルタント 6) コーディネーター 7) ディレクター 8) ベビーシッター 9) エssenシャルワーカー 10) モニター
メタファー(10)	1) 右腕 2) 先駆者 3) フロントティア 4) バイオニア 5) 玄人 6) 素人 7) インサイダー 8) アウトサイダー 9) 浦島太郎 10) 愛知太郎(〇〇太郎)
文書・敬語(17)	1) 受信者名 2) 発信者名 3) 受取人 4) 差出人 5) 伊藤部長殿(〇〇部長殿) 6) 課長田中殿(課長〇〇殿) 7) 先方 8) 貴殿 9) 相手 10) 第三者 11) 氏 12) うちの誰 13) 誰 14) どの者 15) どの人 16) どちらさま 17) どなたさま
話者視点の呼称(18)	1) 私 2) 当方 3) 本人 4) ご本人 5) 当事者 6) 同僚 7) 部下 8) 目上 9) 目下 10) 先輩 11) 後輩 12) 年長者 13) ベテラン 14) 年少者 15) 前任者 16) 前任 17) 後任者 18) 後任
学生・就活(27)	1) 学生 2) 友人 3) 知人 4) 知り合い 5) 顔見知り 6) インターンシップ生 7) インターン生 8) インターン 9) 新卒 10) 既卒 11) OB 12) OG 13) 受講生 14) 受講者 15) 小中高生 16) 対象者 17) 恩師 18) 講師 19) 先生 20) 面接官 21) 社会人 22) ビジネスマン 23) 職業人 24) 勤労者 25) 障害者 26) 障害者 27) 障がい者
身内(34)	1) 近親者 2) 身内 3) ご主人 4) ご主人様 5) 主人 6) 配偶者 7) 妻 8) 奥様 9) 家内 10) お父様 11) ご尊父様 12) 父 13) お母様 14) ご母堂様 15) 母 16) お兄様 17) 兄 18) 弟様 19) 弟 20) お姉様 21) 姉 22) 妹様 23) 妹 24) 子息 25) ご令息様 26) ご子息様 27) お子様 28) 息子 29) ご令嬢様 30) お嬢様 31) ご息女様 32) 娘 33) 親戚の者 34) 住人
葬儀(5)	1) 葬儀委員長 2) 喪主 3) 故人 4) 遺族 5) 会葬者

カネ・情報」と言われる。トップマネジメントとミドルマネジメントの間に、法律・金融関係の語彙を入れている。それぞれの項目に、5～34の「人」を当てはめた。

なお、「チームリーダー」「リーダー」「チームのメンバー」「メンバー」は、ローママネジメント（現場監督者層）欄に配置した。実際には、「メンバー」は、ローママネジメントに該当せず、実務層（一般社員）に当たるが、シソーラスの概念に則り、一通りのまとまりで語彙を捉える方が記憶しやすいという判断による。

7. 「J1」取得のために理解すべき語彙「人：単数」厳選30語

表7の厳選30語は、BJT「J1」取得に特化した語彙リストで、試験対策として位置づけている。そのため、先のキャリア形成300語に加えた16語は対象外とし、284語のアンケート結果及び授業観察を通じて、厳選した。

表7 「J1」取得のために理解すべき語彙「人：単数」厳選30語

トップマネジメント (経営者層)(4)	1) 専務取締役 2) 常務取締役 3) 社外取締役 4) 重役
法律・金融 (利害関係者)(5)	5) 頭取 6) 弁理士 7) クライアント 8) 施主 9) ステークホルダー
ミドルマネジメント (中間管理者層)(2)	10) 上長 11) キーパーソン
実務層（一般社員）(1)	12) 人材
マーケティング対象 (3)	13) 見込客 14) 法人会員 15) 団塊ジュニア
契約 (1)	16) 連帯保証人
会議 (3)	17) パネリスト 18) 立役者 19) オブザーバー
専門職 (2)	20) 有識者 21) コメンテーター
カタカナ職 (4)	22) ゼネラリスト 23) コンサルタント 24) コーディネイター 25) エssenシャルワーカー
メタファー (1)	26) 浦島太郎
学生・就活 (1)	27) OB
身内 (1)	28) 住人
葬儀 (2)	29) 葬儀委員長 30) 会葬者

以上30語は、BJTでJ1取得レベルと考えられる語彙で、N1留学生の将来の使用頻度も多いと思われる語彙を優先した。

「人材」は、「人材」とも表記され、会社のホームページなどでは、どちらも用いられている。「法人会員」は、「法人」を理解できる語である。

「団塊ジュニア」は、全員が未知語とした語である。日本独特の表現であり、団塊の世代、戦後のベビーブーム、少子高齢化社会等の社会背景の理解を促す語である。中国や韓国の学生は、自国も少子高齢化が進んでいると話していた。BJTの練習問題集では、「団塊ジュニア」は、聴解問題などの会話に出題されることがあり、文字で読んで確認できないため、聞いて理解できる必要がある。人口動態は、ビジネスやマーケティングに大きく影響するため、しっかり理解しておきたい。

「パネリスト」は、自習する中で、検索すれば、会議「パネルディスカッション」を覚えられる語彙である。BJTでは、会議の場面設定も多いため、会議用語への理解は欠かせない。「『パネル』をする人って、何かと思った。」という学生のコメントから、「ピアニスト、バイオリニスト、〇〇をする人が〇〇ニスト」という英語の知識から類推することが難しく、捉えづらいことがうかがわれた。日本語として新たに理解する必要があるようだ。

「ジェネラリスト」は、N1留学生の未知語(表2)として、8名73%がチェックしている。一方、「ゼネラリスト」は10名91%がチェックしている。より英語の発音に近い単語が理解されやすいということだろう。しかし、表記において「ゼネラリスト」は多用されるため、理解しておきたい語である。

「エッセンシャルワーカー」は、2020年コロナ禍から頻繁に使われる語となった。日本語の教科書には掲載されていないと思われる語であり、N1取得の過程でも学んでいないだろう。授業でも、「一般的なニュースを見聞きしていない。エッセンシャルワーカーとして働く事を全く想定していないため、自分には関係ない語彙だった。」というN1留学生のコメントがあった。同じく日本語の教科書にはなさそうな「インフルエンサー」は、N1留学生全員が知っていた。デジタルネイティブ世代は、SNSに関連する語彙は未知語であっても自然に習得できているということだろう。BJTは海外でも実施されているため、時事問題は出題されない。「エッセンシャルワーカー」は時事問題として取り上げられた語彙だが、定着してきており、現在でも使用されている。どの職業を具体的に示すかは、自治体や話し手により範囲が異なるが、押さえておきたい語彙である。

「OB」は、BJT問題集でよく扱われる語彙である。和製英語の省略形であり、英語能力の高い留学生でも知らない場合がある。また、留学生の就職活動では、OB訪問なども積極的に推奨したいため、理解を促すことがキャリア形成に直結する語彙でもある。

「葬儀委員長」「会葬者」については、日本の葬儀の知識を持ち合わせていない留学生には、推察するのが難しい。BJTでは、ビジネス文書の問題として出題される点、日本企業への就職後は、葬儀への参列も予想される点から、葬儀の知識を蓄える意味でも押さえたい。

8. 結論

日本語教育の専門領域における語彙リスト作成の先行研究を概観し、クラス留学生のアンケート結果を踏まえ、キャリア形成のために理解すべき語彙「人：単数」300語とBJT「J1」取得のために理解すべき語彙「人：単数」厳選30語の自習用語彙リストを作成した。BJTは、試験問題が非公表であるため、犬飼（2023）で、日本語学習者向けの3冊、日本人学生が学ぶビジネス系検定テキスト3冊から、284語を抽出した。これら6冊のテキストは、2009～2020年に発行されたものである。コロナ禍が2020年から始まり、ビジネスの形態も就職活動も大きく変化している。そこで、新たに16語を加え、キャリア支援のために理解すべき語彙「人：単数」を300語としたが、適切性について、これからも検証が必要である。

また、調査対象者は19名で、データ数は不足している。BJT受験の支援と、受験者の結果追跡なども含め、今後も継続して調査を続ける必要がある。授業観察を通じ、N1留学生は大変意欲的であることを確認できた。J1取得に必要な内容と量を的確に伝える方法を研究しつつ、効率的に自習できる語彙リストの開発を継続して行っていく。

本研究では、犬飼（2023）に続き、語彙リスト第一弾として、「人：単数」を作成した。300語リストの「文書・敬語」欄を作成する中で、BJT聴読解・読解分野では、J1取得レベルを目指すために、「メール・文書」に頻出する独特な書き言葉による表現を理解する必要があると再認識した。N1留学生がEJUやN1取得のために学んでいないビジネスメール・文書用の書き言葉を効率良く学習できれば、キャリア形成にも寄与することとなる。そこで、第2弾は、「メール・文書」をテーマにしていくこととする。時代の変化も捉えながら、継続的に語彙リスト作成を行っていきたい。

謝辞

本論文は、愛知大学の梅田康子先生にご指導いただきました。ここに記して、感謝いたします。

注

- 1) 犬飼（2023）では、294語と報告したが、正しくは284語である。
- 2) NPO法人国際教育振興会 日本語教育ネットワーク機構主催オンラインセミナー（2023.12.2）第一部 公益財団法人漢字能力検定 大森一弘氏。
『BJTとは』日本語能力テストの特徴、試験内容、試験結果のデータ、導入企業や受験者の声」

参考文献・資料

- 愛甲瑞枝 (2022) 「留学生のための入学前習得必須語彙リストの作成」『日本経大論集』第52巻第1号 pp. 19-39
- 愛知大学キャリア支援センター (2023) 『CAREER GUIDE BOOK 2023』キャリアスタ就活 株式会社ディスコ
- 伊藤秀明 (2014) 「専門日本語教育における自己主導型学習の可能性—学習者による‘私の’専門語彙の抽出とリスト化—」『専門日本語教育研究』第16号 pp. 23-28
- 犬飼明子 (2023) 「N1留学生在BJT『J1』取得のために理解すべき語彙リストの作成—BJT受験をキャリア支援の観点から考察する—」『言語と文化』愛知大学語学研究室 第48号 pp. 67-84
- 尾崎哲夫 (2004) 『私の英単語帳を公開します!』幻冬舎
- 株式会社ウイネットビジネスのマナー研究会 (2023) 『知っておきたい ビジネスのマナー』株式会社ウイネット
- 佐野彩子 (2016) 「企業の年次報告書を用いたビジネス分野の外来語に関する一考察—アカデミックジャパニーズ, 白書, 新聞語彙との比較を中心に—」『専門日本語教育研究』第18号 pp. 37-42
- 高橋雅子 (2013a) 「日本語中級読解クラスの学習者の語彙に対する意識—学習者の作成した語彙リストと短文から—」『立教大学ランゲージセンター紀要』第29巻 pp. 51-60
- 高橋雅子 (2013b) 「日本語中級学習者が作成した語彙リストの分析—難易度, 頻度, 親密度の観点から—」『立教大学ランゲージセンター紀要』第30巻 pp. 117-126
- 中日新聞 (2016) 4月15日地域経済面 p. 9 「非製造業でも採用国際化『十六銀行 新卒総合職に外国人』」
- 中日新聞 (2023) 6月7日社会面 p. 22 「日系4世に定住資格付与へ『政府 高い日本語能力など一定要件』」
- 中日新聞 (2023) 9月2日地域経済面 p. 9 「減る働き手 育成と確保と『留学生に魅力を発信』中経連が名大で交流会」
- 中日新聞 (2024) 3月2日経済面 p. 6 「就活ハイブリット選考『対面 人となり見極め+オンライン コロナ禍で定着』2025年卒採用の選考形式」
- 独立行政法人日本学生支援機構 JASSO (2024) 『外国人留学生のための就活ガイド2024』
- 中川歩美 (2017) 「日本語教育学から見た災害情報—大阪市災害時用アナウンス文の語彙・表現調査『災害情報』15巻2号 pp. 161-172
- 野村愛・川村よし子 (2011) 「介護福祉士候補者の自律学習支援のための語彙リスト作成」『日本語教育方法研究会誌』Vol. 18 No. 1 pp. 14-15
- 森吉弘 (2019) 『新卒就活&キャリアアップ&日本の理解 アジアの若者が日本企業に就職するための「思考とスキル」』
- 渡辺史央 (2022) 「外国人スポーツ留学生を対象とした日本語授業の一考察—専門語彙リスト作成とタスクを取り入れた実践—」『高等教育フォーラム』Vol. 12 pp. 13-24